

教 科	科 目 名	単 位 数	学 年	学科またはコース	履 修
農 業	作 物	2	2	生物生産科	選択

科目のねらい	1年次に学んだ農業科学基礎の深化・発展を目的とし、作物（水稻）の栽培・経営に関する基本的・体系的な技術と知識を身につける。 学習の目的としては栽培技術を身につけることよりも、農業の多面的機能や、食文化、命の尊さと感謝の気持ちなど『食育』に重点を置く。
--------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

使用教材など	高等学校農業教科用『作物』実教出版
--------	-------------------

期	月	時数	学 習 内 容	学習のポイント
一 学 期	4		水稻栽培に関わる春作業について 播種・育苗・田植え、本田準備 等 初期の本田管理 水の役割と管理の重要性 イネ以外の作物について ダイズ（枝豆）、ラッカセイ 等	1年次に学んだ水稻栽培に関する基礎知識や基礎技術を復習。更に専門的な知識へと深化させる。 イネ以外の作物についても触れ、自分と食の繋がりについて考える。
	5			
	6			
	7			
二 学 期	9		中期～後期の水田管理 除草管理・肥料管理（追肥） 収量構成の4要素 収量診断の方法 生物の多様性について 農業の多面的機能について	イネの栽培管理を通して、植物の特性について学習する。 夏の過酷な作業を体験し、収穫の喜びと感謝の気持ちに繋げる。 生物の多様性と農業の多面的機能から、農業の意義と国の政策について学習を広げる。
	10			
	11			
	12			
三 学 期	1		【世界の食糧自給】 【稲作を取り巻く新しい技術】	世界の食糧自給から、飽食社会日本について考える。 栽培技術だけでなく、改良技術や保存技術など幅広く学ぶ。
	2			
	3			

評価項目・学習にあたって・評価点

①筆記試験	座学及び実習で得た知識がきちんと身につけているか。	50点
②実習	積極的に動くことが出来る。仲間と協力して真面目に取り組める。 作業内容を理解できている。	25点
③課題提出	座学のノート、生育調査等観察の記録、プロジェクト学習のまとめ等	15点
④出席		10点